

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

4-IV-6

4-IV-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者と地域住民との交流促進
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	6 地域と来訪者との交流促進	事業主体	佐渡市地域づくり課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 祭り等地域行事に来訪者が気軽に参加できるよう、地域の受入体制を整備する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と大学等との交流促進を図り、島外から年間220人の教員・学生を受け入れる。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の集落において、大学等が行う地域課題の解決や賑わい創出のための活動経費について支援を行ってきた。 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡の伝統芸能である鬼太鼓や能、地域振興をテーマに学ぶ大学等を20校受け入れる。 ● 実習を行った大学等から5校程度を選抜し、令和5年2月を目処に活動報告会を実施する。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係する大学等の受入数:15校 活動報告会(合同報告会):令和5年3月23日6団体発表 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域コミュニティの弱体化が懸念される。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大学と地域の交流を通じた地域づくりの事例を市民に周知し、今後の地域活動を考えるきっかけとなるよう引き続き報告会を実施していく。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたこともあり、大学等の活動も活発化し、支援を行えた。報告会も無事実施できた。</p> <p>{ A・B・C }</p>		

A:予定を上回る進捗
B:概ね予定どおり
C:遅れている。